

博士前期課程(修士) / 助産看護学領域 / 助産看護学分野科
目コード:280010

地域母子保健特論 Community Midwifery

担当教員	亀田 幸枝、戸部 洋美、千原 裕香、河合 美佳、金子 紀子(非)、吉田 みち代(非)、椿 麻衣子(非)				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	30		
該当 degree program	(1)	(2)	◎	(3)	○
Keywords	地域、母子保健活動、地域包括ケア、妊婦訪問指導、新生児訪問指導、褥婦の訪問指導、国際母子保健、在日外国人、異文化出産				
学習目的・目標	1. 我が国の母子保健制度や母子保健施策について理解し、母子保健の現状に対する課題や今後の展望を説明できる。 2. 住民の多様なニーズに対応した母子保健活動の実際を把握し、子育て世代への包括的支援と保健・医療・福祉関係者との連携・協働について理解できる。 3. 産後4か月程度までの母子の健康状態のアセスメントに必要な知識と技術を理解し、実習への活用方法を検討できる。 4. 諸外国の母子保健制度や母子保健活動の現状と課題、異文化における出産・子育てについて理解できる。				
授業計画・内容					
1	ガイダンス、学習課題提示 地域母子保健の概念、地域母子保健活動の意義	講義	亀田		
2	地域母子保健行政(1) 日本の母子保健行政と母子保健制度	講義	金子		
3	地域母子保健活動の展開 乳幼児の健康診査とケア	講義	金子		
4-5	乳児のフィジカルイグザミネーション	講義・演習	亀田・河合		
6-7	産後4か月頃の褥婦と乳幼児の母子訪問 (PBL、ロールプレイ)	演習	亀田・河合		
8	地域における助産活動 助産サービスの目的と特徴、関連する母子保健行政、助産サービスの実際	講義・討議	吉田 (亀田)		
9-10	支援ニーズが高い親子への健康課題と支援 子どもと家族への支援、職種連携の実際	講義・演習	戸部、千原		
11	国際母子保健 諸外国の母子保健活動 海外在住日本人の母子保健、在日外国人の母子保健 異文化出産における問題と助産ケア	講義	椿 (亀田)		
12-13	プレゼン準備	演習	亀田		
14-15	【課題】近年の母子保健施策の現状・課題から考えるこれからのケアシステムの考察(まとめ)	プレゼン・討議	亀田		
	定期試験				
教科書	助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健:医学書院 最新版 乳幼児健診マニュアル:医学書院 最新版 随時紹介する				
参考図書等	新版 助産業務要覧 I 基礎編:日本看護協会出版会 最新版 新版 助産業務要覧 II 実践編:日本看護協会出版会 最新版 新版 助産業務要覧 III アドバンス編:日本看護協会出版会 最新版 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動:医学書院 最新版 国民衛生の動向:厚生統計協会編 最新版 母子保健の主なる統計:母子衛生研究会 最新版 助産師基礎教育テキスト第1巻 助産概論・母子保健:日本看護協会出版 最新版 助産師基礎教育テキスト第6巻 産褥期のケア/新生児期・乳幼児期のケア:日本看護協会出版 最新版 随時紹介する				
評価方法・基準	定期試験60%、プレゼン・討議40%				
関連科目	助産学概論、助産診断・技術特論演習Ⅰ(妊娠期)、助産診断・技術特論演習Ⅱ(分娩期)、助産診断・技術特論演習Ⅲ(産褥期・新生児期・乳幼児期)、助産診断・技術特論演習Ⅳ(ハイリスク)、健康教育論演習、助産管理特論、助産実践実習Ⅰ-1(正常・継続)				
教員から学生へのメッセージ	地域で暮らす女性や子ども、およびその家族は様々な課題や不安を抱えています。それぞれの多様な課題やニーズに適切に対応するために、地域母子保健活動のあり方を共に考究していきましょう。				